



第69期 報告書

2022年1月1日から2022年12月31日まで



CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

P3 販売品目

P4 連結財務諸表

P5 会社データ

P6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



2023年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第69期（2022年1月1日から2022年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第69期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業の設備投資やウィズコロナの各種政策効果が見られたものの、エネルギーや食料品を中心とした物価上昇が個人消費の回復を遅らせ、また昨年より続く半導体等の供給制約も解消されず、景気は盛り上がり欠ける状況が続きました。一方、世界経済におきましては、ウクライナ情勢の長期化、中国のゼロコロナ政策、さらには欧米を中心とした金融引締めなどが影響し、景気を持ち直しの動きに足踏みが見られました。

鉄鋼業界におきましては、半導体不足の問題が続いた自動車関連は生産計画の未達状況が続きましたが、高水準の着工が続く大型建築物や増産体制の建設機械等に鉄鋼需要は支えられました。一方、鉄鋼価格については、前半は資源価格の急騰により上昇しましたが、後半には海外価格の低迷や資源価格の急落により徐々に下落傾向に転じました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は575億50百万円（前年同期比26.8%増）となりました。利益面につきましては、在庫品の販売スプレッドが縮小したことが影響し、営業利益は8億6百万円（前年同期比44.6%減）、経常利益は9億27百万円（前年同期比41.1%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は6億10百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用したことにより、従来の会計処理方法を適用した場合に比べて、当連結会計年度の売上高は33億7百万円減少、売上原価は32億53百万円減少、営業利益は53百万円減少、経常利益および税金等調整前当期純利益はそれぞれ27百万円減少しております。

今後の課題について

わが国経済においては、今後、脱コロナに向けた力強い取組みと物価上昇に伴う賃金対策により個人消費が回復し、また一昨年より続く供給制約が緩和され輸出や生産が持ち直していくことが期待されております。しかしながら、世界的な金融引締めが続いており、世界経済の成長が一層停滞すれば国内景気にとっても大きな押し下げ要因となる懸念があります。

鉄鋼業界におきましては、需要面では自動車の挽回生産は徐々に進展するものと思われ、また大型の建築需要も好調を維持する見通しです。一方、海外に比べ上がり過ぎた鉄鋼価格は調整局面をむかえており、生産・需要の世界の過半数を占める中国の動向など、十分注意が必要となっております。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべく、さらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

①ワンストップ機能の拡充

顧客志向に即した豊富な商品ラインアップを図り、大口・小口を厭わない効率的な荷捌き・配送の仕組みを確立し、現物・即納体制の強化に努めます。また自社加工設備の活用と多くの協力的会社との連携によって、一次加工からハイレベルな加工にも積極的に取り組み、あらゆる顧客志向に一貫して応じることのできる体制を一層強化してまいります。

②業務効率化

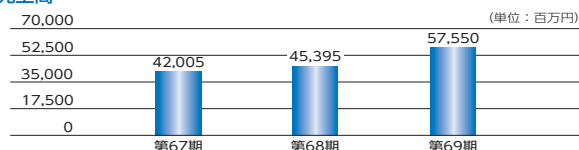
社員のより効率的な働き方を実現するため、デジタル技術の活用と社員一人一人の意識改革を推進するなど、ハード面・ソフト面の積極的な改革に取り組んでまいります。また効率的な業務処理と営業支援を最大限に発揮できる新基幹システムの開発・運用することで、さらなる生産性の向上を図ってまいります。

③人材戦略

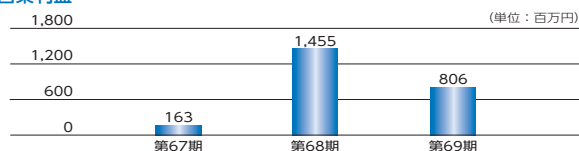
多様化した顧客ニーズに対応する鋼材のエキスパートになれるよう、研修や資格取得等の取り組みを通じて人材の育成に努め、通年採用やキャリア採用等による優秀な人材発掘、当社グループへの定着化を図ってまいります。

連結財務ハイライト

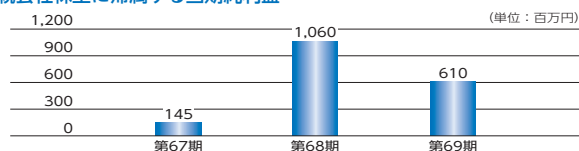
●売上高



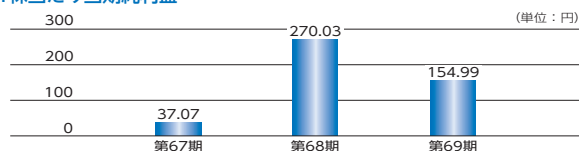
●営業利益



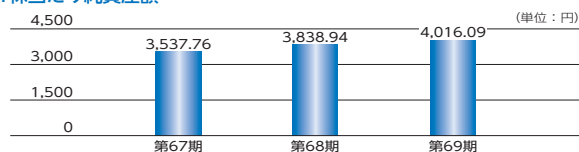
●親会社株主に帰属する当期純利益



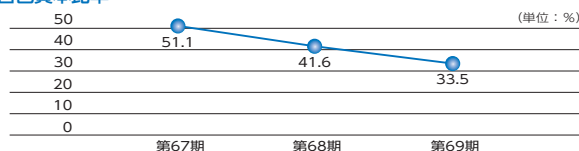
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



(注) 当連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、当連結会計年度の連結財務ハイライトについては、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しています。

各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 2021年12月31日現在	当期 2022年12月31日現在
資産の部		
流動資産	26,777	36,416
固定資産	9,592	10,773
有形固定資産	7,306	7,495
無形固定資産	320	734
投資その他の資産	1,964	2,543
資産合計	36,370	47,190
負債の部		
流動負債	19,535	29,462
固定負債	1,468	1,668
負債合計	21,004	31,130
純資産の部		
株主資本	14,408	14,846
資本金	767	767
資本剰余金	633	633
利益剰余金	13,033	13,471
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	711	967
その他有価証券評価差額金	711	967
非支配株主持分	245	245
純資産合計	15,365	16,059
負債及び純資産合計	36,370	47,190

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)	当期 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)
売上高	45,395	57,550
売上原価	39,695	52,152
売上総利益	5,699	5,397
販売費及び一般管理費	4,244	4,590
営業利益	1,455	806
営業外収益	153	128
営業外費用	33	7
経常利益	1,575	927
特別損失	10	4
税金等調整前当期純利益	1,564	923
法人税、住民税及び事業税	537	343
法人税等調整額	△51	△32
当期純利益	1,078	613
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	18	2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,060	610

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)	当期 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,225	△635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319	△742
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,232	1,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△312	123
現金及び現金同等物の期首残高	1,340	1,028
現金及び現金同等物の期末残高	1,028	1,151

【会社概要】

(2022年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	767,562,500円
従業員数	14名（連結従業員数：244名）
主要な事業内容	当社グループは、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

【役員】

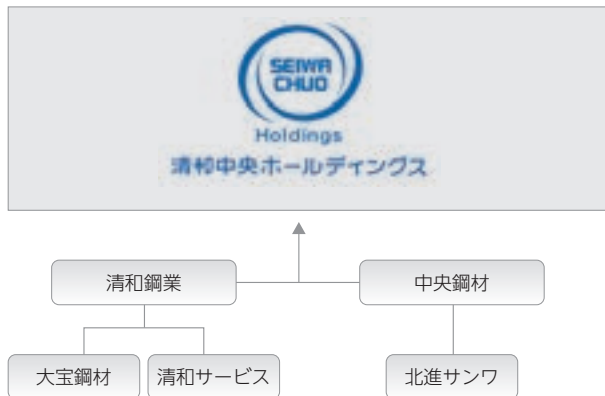
(2023年3月29日現在)

代表取締役社長	阪上正章
専務取締役	阪上恵昭 管理本部長
取締役	伊吹哲男 経営企画部長
取締役	後藤信三
取締役	草野征夫
常勤監査役	岸保典
監査役	小西弘之
監査役	圓隆一

- (注) 1. 取締役草野征夫氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役岸保典、小西弘之、圓隆一の3氏は、社外監査役であります。
 3. 取締役草野征夫氏および監査役岸保典氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
 4. 監査役小西弘之氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】

(2023年3月29日現在)



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

中央鋼材株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-5 TEL：03-6891-4800

大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

北進サンワ株式会社

〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根1212-3 TEL：048-999-7373

【株式情報】 (2022年12月31日現在)

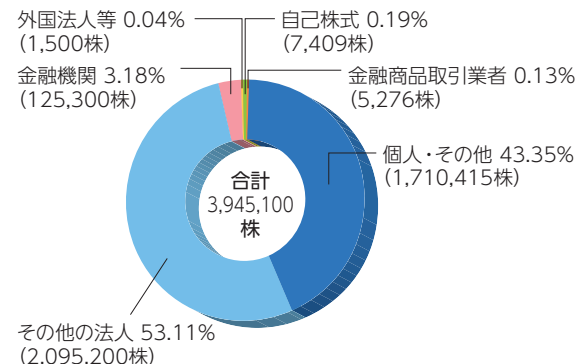
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,945,100株
- 3) 株主数 542名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
エスケー興産株式会社	575,800株	14.62%
株式会社ワイエムピー	558,000	14.17
阪上 正章	433,780	11.02
大和製罐株式会社	377,800	9.59
阪上 恵昭	320,400	8.14
東洋商事株式会社	149,500	3.80
エムエム建材株式会社	130,000	3.30
加藤 匡子	121,700	3.09
小田 敏花	96,500	2.45
コンドーテック株式会社	60,000	1.52
フルサト工業株式会社	60,000	1.52

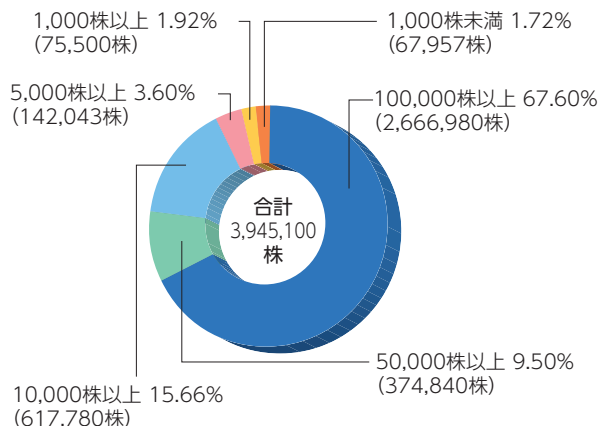
(注) 持株比率は自己株式 (7,409株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (2022年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 スタンダード市場

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

